

夏期スクーリングがはじまるよ！ 36

ピアノガイダンスレポート 38

レポート作成の秘訣 40



夏期スクーリングが始まるよ!

スクーリングの1日の流れ

登校

遅刻・欠席は認められませんので、時間に余裕をもって登校してください。また、登校後は7号館にある掲示板をチェックしましょう。

POINT

体調管理はしっかり!

期間中は通常の生活とリズムが異なるため、体調を崩しやすいです。受講前から睡眠をよくとる、冷房対策として何か1枚羽織る物を用意するなど、体調管理に気を配りましょう。



午前の授業

1限 9:00~10:30
2限 10:40~12:10



POINT

授業時間を有効に!

スクーリングでの授業は先生の話を直接聴ける貴重な場です。分からないことがあったら積極的に先生に質問をしましょう。



お昼休み

学内の食堂にもぜひ行ってみてください!

POINT

ランチタイムは友だちと!

スクーリングは、同じ目標をもつ友だちと知り合える機会でもあります。友だちとの、情報交換はレポートや試験対策などにも役立ちますし、何より学習の励みになります。



下校

授業によっては最終日などに試験を行います。帰ってからの復習を忘れずに!

POINT

宿泊の予約はお早めに!

宿泊を予定している方は、日程が決まり次第、各自で早めに予約をしてください。参考として松戸近辺の宿泊施設を「スクーリングのしおり」54ページに掲載しています。



午後の授業

3限 12:50~14:20
4限 14:30~16:00
5限 16:10~17:40



スクーリングの思い出 ~受講生からのメッセージ~

スクーリングはどの科目も楽しく、勉強になりました。

日本文化学科 30代 東京都在住

グループに分かれて創作ダンスをしたことです。メンバーとアイディアを出しあい、汗を流せたことが良い思い出です。

児童学科 20代 神奈川県在住

グループワークやロールプレイングが楽しかったです。具体的な技術を学べました。

社会福祉学科 30代 埼玉県在住

テキストでの勉強を実際自分で体験できたことがとても良かったです。どのように心理検査を行うのか、どのような目的で行うのか分かり、学習が深まりました。

心理学科 40代 千葉県在住

スクーリングでは、すべての生徒にやさしく的確に指導頂いた先生のすばらしい対応と人間性が印象的でした。

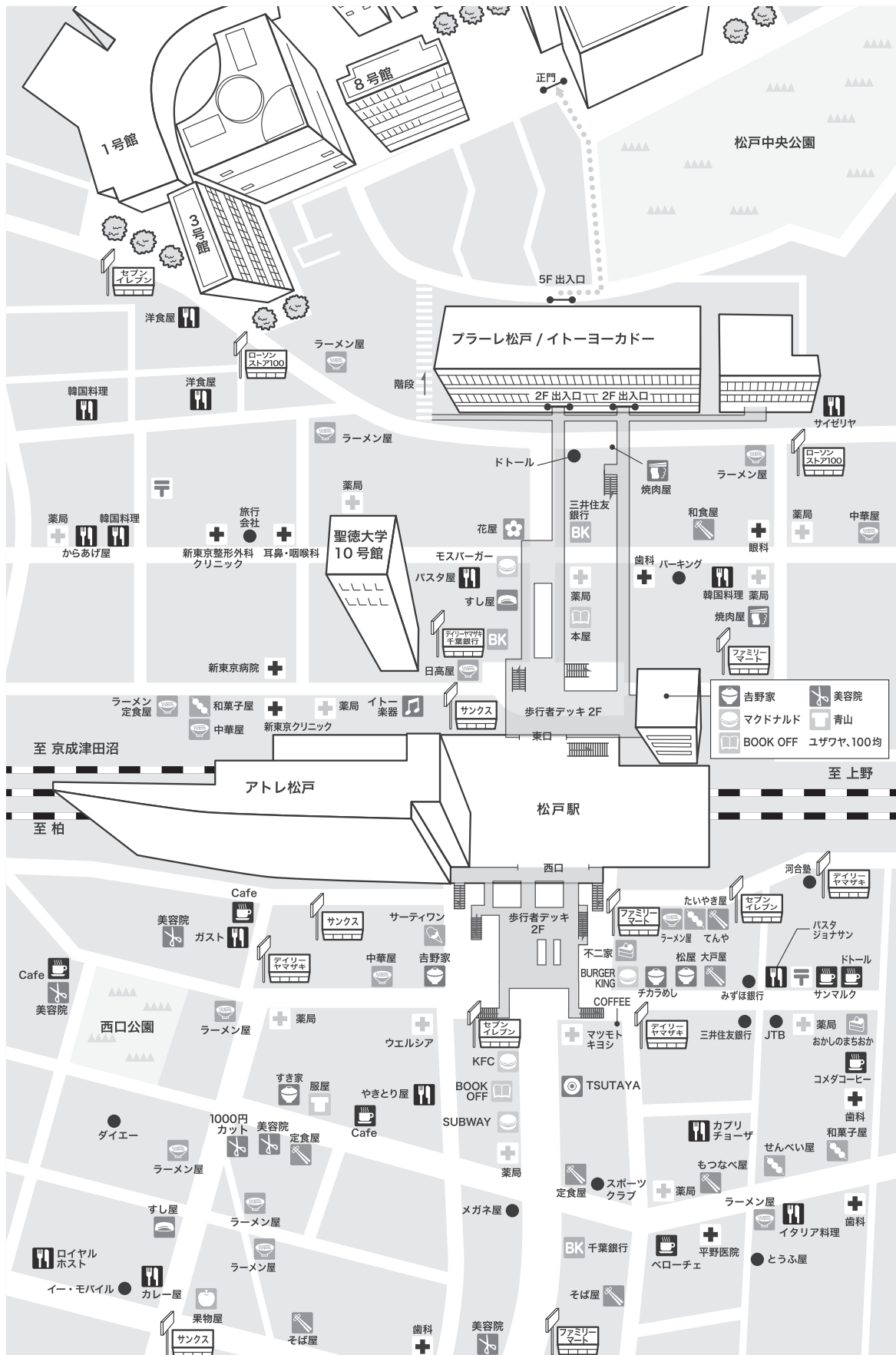
社会福祉学科 40代 三重県在住

スクーリングで、いろいろな資料をもとに、日本各地の風俗などを、とても分かりやすく楽しく講義していただきました。

日本文化学科 60代 北海道在住

7月24日(木)より夏期スクーリングが開講します。スクーリングは、普段の在宅学習では体験できない講義や実習を受けられる数少ない機会です。また、先生や仲間とのふれあいの場でもあります。みなさんのスクーリングが充実した日々になりますよう、受講するにあたってのポイントを紹介します。

学校周辺マップ



ピアノガイダンス Report

平成26年5月18日(日)聖徳大学1号館 メディアホールにて、ピアノガイダンスが行われました。

試験・レッスンを担当する教員が“聖徳ピアノ”をマスターするためのポイントを直接指導。

当日は、大学・短期大学部の学生20名程の方が参加し、熱心に耳を傾けていました。

<プログラム>

第一部 10:30~12:00

休憩 12:00~13:00

第二部 13:00~14:30



ご担当いただいた 武藤 純一先生

ピアノ・ガイダンスでお話したピアノを弾くための基本技術や、音楽表現に関わる感覚的なことは学修していく中で少しずつ身につけていくものです。課題曲を通して、一つひとつご自分のものにできるように常に目標を持ってください。みなさんの先で待っている子どもたちに楽しい音楽を伝えているご自分をイメージして練習を積み重ねられることを期待しています。

第一部【初学者編】バイエルでこれだけは身に付けよう。

●基本技術

♪ 良い響きを出すための打鍵

押しつけては良い響きは得られません。押しつけると途端に音が硬くなってしまいます。腕の重みを指先で感じ、脱力。肘をひらいて、前で大きなぬいぐるみを抱えているイメージで弾いてみましょう。

♪ レガート奏

メロディを歌わせるために、歩行をイメージしてみましょう。音と音の間をあけず、弦楽器のように、流れるように弾くこと。

♪ スタッカート奏

生き生きとした表現

♪ 付点奏

マーチ演奏

●音楽感覚

♪ 拍節感

安定した速さ(テンポ)。メトロノームを使って練習してみましょう。バイエル86番は色々なリズムが出てくるので、拍節感を養うには最適です。

♪ 拍子感

拍の流れを感じて。指揮で拍子のサイクルを感じます。

♪ フレーズ感

音楽の流れを持たせるための工夫。メロディを歌ってみましょう。

♪ ハーモニー感

自然な強弱をつけるため(主要三和音: I・IV・V)の工夫。歌詞から情景をイメージしてみましょう。

第二部【アドバンス・マーチ編】よく見受けられる演奏の勘違いを正そう

● AE 9

拍節を感じ、調性を理解しましょう。跳躍部分は工夫が必要です。音階の復習ができる音域の広い曲です。長い小節でたくさんの音があるものは拍節感を鍛えることができます。レの音に指の都合で#をつけないように注意しましょう。

● AE 14

9番の応用でもある長く音階のある曲です。すべてをフォルテシモで弾くのは難しいので、拍頭にアクセントをつけましょう。伴奏が大きくなりすぎないために、右手と左手のバランスが大事です。親指は潰さず、しっかりと支えて弾きましょう。録音をして聴く、体を楽にしてタッチの感触を知るなど、リズムを取る工夫をしましょう。

● リンロン・マーチ

メロディの流れを感じましょう。右手をレガートにして音を短くして切らないようにすること。楽譜に付点はないけれど、同じ音を弾くときは工夫し、付点があるように弾きます。付点もまず脱力してから弾くとよいでしょう。重いリズムになる3つの理由は、3連符・押さえつけられた鍵盤・どの音も同じタッチであることです。

● スキップ

3拍子を感じて軽やかなイメージで弾きましょう。スタッカート奏で歌うように弾くといいいでしょう。

● ワシントン・マーチ

冒頭は堂々と。離鍵で付点を表現します。指をパッとあげる。ただし、指を上げすぎると時間がなくなるので注意しましょう。参考書『音楽Ⅰ・音楽実技Ⅰ ポイント解説』にある指を使うのがやりやすくおすすめです。

● しゃぼんだま

和音にはそれぞれ、安心感・緊張感・解放感などのイメージがあります。歌詞を読み、どの言葉にどの和音が使われているかみると納得できるかもしれません。和音の音量バランスは、基本的に外側を大きめに内側を控えめにするとキレイに響きます。例として、レ・ファ…レの音を少し控えるといったように。また、休符は次の音への準備と思ってください。



受講生から次のような質問がありました♪

Q これからピアノをはじめます。どのように練習計画を立てればいいでしょうか。

A 年間・半期・月ごとに目標を立ててください。バイエルを一年で終わらせたい場合は、曲数を一年間で割ってみましょう。それに合わせて練習量を決めます。バイエルでは、指の動かし方を学ぶと同時に読譜力をつけましょう。漠然と練習をせず、目標をクリアしていくことがモチベーションの向上につながりますよ。

Q 暗譜の仕方がわかりません。

A メロディを忘れてしまう人はほとんどいません。伴奏を忘れがちです。左手を完全に覚えることを心がけてください。

Q 試験のときに頭が真っ白になってしまうのですが。

A 楽譜を見ましょう。暗譜なら練習で弾きこんでいる自分をイメージしましょう。コツは待機のとときに、鍵盤に対して構えず、腕を両脇におろして脱力することです。

Q 速いテンポで弾けるようになる方法がありますか？

A 1拍ごとではなく、フレーズを単位として捉えるといいです。

Q レッスン記録表の個人レッスンページには何を書けばいいですか？

A どういったレッスンをしたのか少し詳しく書いてください。曲名だけでなく、この曲のこの部分のスタッカートを重視したなど。



みなさんの努力が必ず実を結びます。
一步一步がんばりましょう！

レポート作成の秘訣

part 1

「レポートってどうやって書けばいいの?」「レポートは書いてみたけれど…」なかなか合格できずに悩んでいる方へ。

通信教育学務課では卒業生を対象としたアンケートを実施しました。

先輩の意見を参考に、今後の学習に活かしてみたいはいかがでしょうか。

社会福祉学科 千葉県在住 平成26年3月卒業

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 毎日の忙しいなか、通信教育で学んでおられる皆様、ごくろうさます。一日もはやく、卒業の栄冠を手になれますよう心からお祈り申し上げます。恥ずかしながら、以下に体験を書かせていただきました。レポートを書くうえで少しでも参考にいただければ幸いです。

私の場合、レポートを書く前には、「課題で何を求められているのか」良く題意を把握する事に努めました。テキストを自習し、図書館や書店で題意に沿った本をさがし、平均2冊ぐらい読みました。読みながらページと要点をノートに記録しておく、忘れても、探す時間が省け、レポートの構成を描くうえでも、役に立ちます。かならず自分の言葉で書きます。引用する箇所は必ず出典をあきらかにします。また、新聞などの関係するニュースを切り抜いて、スクラップしておきます。後でレポートの材料になることがあるからです。

地方自治体などで、頒布されたり、無償で頂けるものも役に立ちます。以上のことに留意してあとは「なおして頂くのも勉強」くらいの気持ちで、とにかくレポートを出さないことには、前進しないのですから。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 私は定年退職者ですので、時間的には大変余裕がありました。

レポートに取り組んだ場所は自宅の一室がメインで、毎日6時から12時、19時から21時です。関係のある新聞記事を切り抜いたり、図書館や、書店で参考書を探したりして。

なるべく早く、次のレポート課題をレポート用紙に書くことによって題意の把握に努めました。平均2冊ぐらいの参考書を読み、それぞれの参考書毎に要点をノートにメモしておき、後で読み直せるようにして、ページも忘れず記入しておきます。

自分の言葉で推論し、自ら考え、論理の展開上どうしても引用が必要な場合のみ当該箇所を括弧で括り、出典を必ず明記しました。

レポート作成は、基本的に、下書き、読み返し、訂正、読み返し、清書、読み返し、訂正の過程を踏みました。

あとはレポートの他の記載事項をチェックし、切手を忘れずに貼付し投函するだけです。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 今新しく取り組んでいることは、小規模なグループホームの立ち上げです。他にも、一般賃貸住宅とかベビーシッターの選択肢もあって、準備や情報収集をしている最中です。(博士課程で学ぶことも全く考えていない訳では有りませんが、現在は年齢や健康を熟慮している段階です。)

心理学科 神奈川県在住 平成26年3月卒業

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A レポートの質問内容からポイントをしぼり、それについて細かく図書館で調べました。しかし、何冊も資料を読むのも自分なりに負担が増しているということがわかった時、2-3冊にしぼってみる等、自然に工夫することができた気がします。教科書や参考資料を読解し、自分なりの言葉に集約しながら、講師の意図しているところを、シラバスの学習目的や内容で確認するようにしました。一度に幾つものレポートを仕上げるのは、自分としては負担が大きくなりすぎるため、時間的に余裕が持てる位の期日を定めるようにしました。又、行き詰まった時は何度もあります。仕事と家庭と学習の3足のわらじをはくということは大変辛い時もありましたが、レポートで合格点をもらった時の達成感は大きかったです。

「このレポートを作成したら、〇〇をする」というように、自分なりに、モチベーションを上げる工夫を見つけることで継続して学習することができました。ほめられるとその気になる自分なので周囲に通信教育で勉強していることを言い「すごいねー」と言われるとやる気になっていた気がします。前向きでいることが大切だと思います。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 仕事が多忙のため毎日集中することはできず、科目終了試験の日とレポートの期限から、自分のスケジュールを作成しました。スケジュールにそって必ず下書きを書くようにしていき、修正、修正、と書き直していきました。自宅では子供が寝た後や早朝に取り組むようにしていきました。そして仕事が終わった後や、休みの日は、地元の図書館の方が集中できたので弁当持参で活用していました。1つレポートを作成したら、その次の休みは自分の好きなことに使うようにしていき、モチベーションを上げました。しかし、休日(勉強しない日)が多いとやる気もなくなるので、1日止まりとして継続できるように工夫しました。下書きは集中して、図書館でおこない本書きは、お茶を飲みながら、ゆっくり書いた日もあります。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 認定心理士の申請中です。心理学科を卒業したことで資格を増やしていきたいです。